

慶應義塾 普通部

所在地 / 〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-45-1
 TEL / 045-562-1181
 学校長 / 荒川 昭
 創立 / 1858年、福澤諭吉が開いた蘭学塾が慶應義塾の起源。1898年に一貫教育体制が確立。1952年、現在地に移転。
 URL / www.kf.keio.ac.jp

	1年	2年	3年
男子	237名	236名	237名
女子	—	—	—
クラス数	10組	6組	6組
総生徒数	710名(普通部)併設小から 約30%		



(交通アクセス)
 東急東横線、横浜市営地下鉄「日吉」駅より徒歩5分

100年以上の伝統を誇る一貫教育のパイオニア校

福澤諭吉が開いた蘭学塾を前身とする慶應義塾が母体。1898年には幼稚舎、普通学科(翌年、普通部という名称に戻る)、大学科(翌年、大学部という名称に戻る)から成る計16年の一貫教育体制が整いました。戦後の教育制度改革で、名称はそのままに、普通部は新制の中学校となりました。福澤諭吉の「独立自尊」の精神を受け継ぎ、「自ら、幅広く学ぶ」「友情を育む」「教養・品格を身につける」ことが重んじられています。2015年には2、3年生の各教室のほか、コンピュータ室や多目的教室などを備えた新校舎が完成しました。

スクールライフ

●教育内容

大学までの一貫教育のなかで、広く深い学識の習得をめざします。3期・週6日制で土曜日は4時限。各教科で副教材が多用され、時には高校・大学レベルの内容を学びます。国語は中1に図書時間が設けられています。理科では2時間連続で実験の時間があり、学年ごとに年間20テーマほどの実験を行い、レポートを提出します。英語は、中1は1学級24人、中2・3では40人学級を分割しての少人数での授業で、「聞く、話す、読む、書く」の4技能をバランス良く伸ばすよう多様な授業形態を取り入れています。情報教育にも積極的で、中1はコンピュータ活用実習が必修です。美術、音楽、書道などの芸術教育も充実し、

■主要5教科の週当たり時間(コマ)数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	5	4	6	5	5
2年	6	6	5	4	5
3年	6	5	5	4	5
合計	17	15	16	13	15

- ◎1日当たりの授業コマ数：50分×6時限
 ※土曜日は4時限
- ◎始業時間：9時

マネーガイド

■2022年度納付金(諸経費を含む)

	入学金	授業料	教育充実費	その他	計
入学手続時	340,000円	870,000円	200,000円	15,000円	1,425,000円
初年度総額	340,000円	870,000円	200,000円	約225,000円	約1,635,000円

※慶應義塾内の他校(中等部あるいは湘南藤沢中等部)へ進学する場合、入学費用全額を振替可能。期日までに入学辞退を申し出た場合、入学金以外を返金

さまざまな課題に取り組んでいます。また、中3では土曜日に2時間連続の選択授業が設けられており、「土に親しむ」などユニークな講座が開講されています。

●部活動

部会と呼ばれる部活動は約40あり、全員参加が奨励されています。幼稚舎生から大学生、社会人までが集まる全塾合同の練習会や大会も開かれています。
 ○文化系/英語研究、演劇・映画、音楽、物理と化学、棋道、コンピュータ、書道、数学、生物、地理・GISなど
 ○体育系/合気道、アーチェリー、オールスポーツ・アウトドア、空手、弓術、剣道、ゴルフ、サッカー、山岳、柔道、水泳、卓球など

●行事

1年間かけて製作した力作が並ぶ労作展(文化祭)、卒業生を講師として招く「目路はるか教室」、慶早戦(野球)の応援のように、同校ならではの行事がいくつもあります。運動会、球技大会、音楽会、任意参加の海浜学校、スキー学校、キャンプ教室などもあります。

●修学旅行・研修旅行

中1は奥日光、中2は黒姫高原での林間学校があります。そのほかにも希望参加の水泳学校やスキー学校などがあり、中3の自然学校では富士山への登山にチャレンジします。希望者対象に、フィンランドやオーストラリアの学校との国際交流を行っています(昨年度は中止)。

- ◎寄付金：「普通部教育充実資金」(任意)、「慶應義塾教育振興資金」(任意)
- ◎授業料：一括(2期分納可)
- ◎奨学金・特待生制度：成績優秀かつ経済的理由により就学困難と判断される者に学費・授業料のほか、林間、自然学校費用の全額または半額を補助



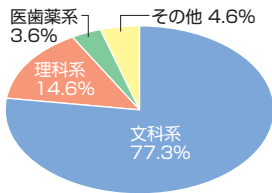
サピックスからの合格実績(過去3年) '20 104名 '21 132名 '22 141名

進学指導の概要

慶應女子高校を除くすべての併設高校(慶應高校、志木高校、湘南藤沢高等部※若干名、ニューヨーク学院高等部)に進学が可能です。普通部生の約9割が進学している慶應高校は慶應義塾大学の日吉キャンパス内にあり、各

■併設大学進学者の進路の内訳

※データは慶應義塾高等学校のもの



★他大学への進学状況(2022年度)非公表

学年18学級です。原則として慶應義塾大学に進学できるため、大学受験体制は敷かず、多様な選択科目が履修可能な自由度の高いカリキュラムを用意。他大学を第1志望とする生徒は、慶應義塾大学への推薦を辞退することが条件となります。

英語は高1より2段階編成で、高2・

3では科目選択制が設けられ、ドイツ語・フランス語・中国語などの履修も可能です。高3では総合学習が週2時間あります。学校主催・生徒会主催の説明会、学部主催の見学会など、大学進学についての説明会がいくつも用意されており、高1から参加可能。説明会には保護者も参加できます。

■併設大学(慶應義塾大学)への推薦状況

※データは慶應義塾高等学校のもの

	法学部	経済学部	商学部	文学部	理工学部	医学部	総合政策学部	環境情報学部	看護医療学部	薬学部
20年	224名	230名	115名	21名	109名	22名	32名	42名	1名	2名
21年	224名	210名	95名	20名	100名	22名	24名	27名	1名	4名
22年	224名	211名	93名	12名	102名	22名	11名	21名	1名	3名

★指定校推薦枠(2022年度)非公表

入試情報

■過去3年間の入試結果

	募集人員	応募者	受験者	合格者	実質倍率
20年	約180	634	589	180	3.3
21年	約180	603	563	195	2.9
22年	約180	619	575	205	2.8

○記点:算国=各100点 理社=各100点 体育実技=非公表
○合格最低点:非公表

22年の募集要項

※以下は2022年の募集要項です。2023年の要項は学校の発表をお待ちください。

入試日/2月1日

募集人員/男子約180名(内部進学者数により変動)

合格発表/2月3日

手続締切/2月4日

試験科目/国語(40分・100点)、算数(40分・100点)、理科(30分・100点)、社会(30分・100点)、体育実技

面接/あり(受験生のみ)

受験料/30,000円

公開行事・説明会予定

【学校説明会】会場:慶應義塾普通部

9月10日(土)、9月11日(日)

※両日とも同じ内容で複数回開催の予定。

各回入れ替え制、要予約。

【オンライン個別相談会】

10月1日(土)、10月8日(土)

【労作展(文化祭)】

9月24日(土)10時~16時30分

9月25日(日)10時~16時30分

◆新型コロナウイルス感染症の影響で変更・中止の可能性もあります。

必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOBの声

- 理科には2コマ連続で実験をする時間があり、学年ごとに年間20テーマほどの実験を行います。授業と実験過程から自分なりに結果を導き、レポートにまとめるのが大変ですが、液体窒素を利用した実験など毎回興味を引くテーマで、おもしろいですよ。
- 労作展(文化祭)は、普通部生が持てる力を出し切って成果を発表する場。テーマは、絵、論文、書道作品、模型など人それぞれで、ぼくは中1のとき、高齢化社会に適した理想のバリアフリー住宅の模型を作りました。
- 食堂は2つあります。パンなどの軽食が買える北食堂と、定食、カレー、ラーメンなどが提供される南食堂です。南食堂では、始業前に食券を買い求める列ができることもあります。
- 水泳やラグビーなどの授業や部活では、大学の充実した施設を利用できるので、大学の雰囲気も味わうことができます。情操教育にも力を入れていて、中2の音楽ではクラシック・ギターを習います。